

秋田市小・中学校適正配置について ～よくある質問～

学校適正配置の取組を進めるのはなぜですか・・・

将来的に児童生徒数が減少しても、子どもたちにとってよりよい教育環境を確保することを目的として取組を進めています。

未来を担う子どもたちが確かな学力を身につけ、心身が健やかに成長していくためには、一定の学校規模を確保していくことが重要であると考えており、将来の望ましい学校の規模と配置について、市民のみなさまとともに考えてまいります。

秋田市教育委員会



Q1 最終的には何年後を目途に統合するのですか？

A 地域ごとに歴史的背景や地理的条件が異なることや、地域のみなさまの理解を十分に得たうえで進めていくことから、一律に何年以内という期限は定めていません。
教育委員会としては、児童生徒数が、今後もさらに減少することをふまえると、できるだけ早く子どもたちの良好な教育環境を確保することが必要と考えています。

Q2 統合により通学距離が長くなった場合、子どもたちの安全は確保できるのですか？

A 通学時の安全確保は、大変重要であると捉えており、必要に応じて、スクールバスの運行など、適切な交通手段を確保します。

また、学校統合や学区の見直しにより、通学路が変更となる場合は、学校や関係機関との連携の下、危険箇所を解消するなど、安全・安心な通学環境の整備に努めます。

Q3 統合において、学校の組合せを考えるよりも、まずは学区の見直しを行うべきではありませんか？

A 現在の学区は、地域の特性や歴史的背景、地域からの要望などに応じて定めているものであり、見直しをする際には、地域の理解を得ながら進めていきたいと考えています。

そのため、地域との協議では、まずは学校の組合せを議論していただき、必要に応じて見直しを検討していきます。

Q4 統合により校舎の新設や増改築はあり得るのですか？

A 原則として、既存の学校施設を活用することとしていますが、統合後に使用する教室や設備などに不足が見込まれる場合には、施設の改修や整備など、必要な措置を行っていきます。



Q5 小規模校には、小規模校の良さがあるので、現状のまま存続させても良いのではないですか？

A 学校規模にかかわらず、各校では、地域や保護者の協力を得ながら、魅力ある学校運営が行われています。
しかしながら、小規模校においては、人数が少ないため、できないことや選べないことがあり、子どもたちが様々な体験を通じて成長するには、学校に一定規模の集団が確保されていることが望ましいと考えています。

Q6 統合により環境が変わる子どもたちは、新しい学校に馴染めるのですか？

A これまでの統合の事例では、子どもたちが安心して新しい学校生活を過ごせるように、準備段階から学校間での交流授業や、校外学習などの学校行事を合同で行っています。

統合の際には、新しい学校に通うことになる子どもたちや、その保護者の不安を解消するため、学級編制や教職員配置にもできる限り配慮していきます。

Q7 統合により学校がなくなると、地域コミュニティが衰退するのではないですか？

A 学校は、地域コミュニティの中核としての機能を併せ持っており、地域にとっても重要な存在です。
そのため、統合後の学校においても、地域で培われてきた伝統や文化の保存、継承に努めていきます。

Q8 これまで小学校単位で活動してきた各種地域団体は、どうなるのですか？

A 学校統合に伴う団体等のあり方については、各団体で判断していただくこととなりますが、各団体を所管する市役所内の関係部局から情報を提供していきます。

Q9 廃校後の校舎や跡地は、どうなるのですか？

A 廃校後の学校施設については、地域の要望を最優先に施設の有効活用に努めていきます。
地域からの要望がない場合は、公共施設としての活用を検討し、さらに活用の見込みがなければ、民間への賃貸・売却などを検討します。

今後も、学校の適正配置が、子どもたちをはじめ保護者や地域のみなさまに良かったと思っただけけるよう、十分な協議を重ねながら進めてまいります。

各町内会等の団体から要望がありましたら、学校適正配置の取組について説明させていただきます。